

令和元年度米子市美術館協議会

日 時 令和2年2月21日（金）午後2時00分から
ところ 米子市美術館 第5展示室

日 程

1 開 会

2 挨拶（文化振興課長）

3 議 事

（1）会長及び職務代理の選出について

（2）令和元年度米子市美術館事業報告について

（3）令和2年度米子市美術館事業計画について

（4）その他

4 閉 会

米子市美術館協議会委員名簿

任期 令和元年10月1日から令和3年9月30日まで

区 分	氏 名	備 考
学識経験のある者	高増 佳子	委 員
学識経験のある者	鐘築 直子	委 員
学識経験のある者	三浦 健吾	委 員
学校教育の関係者	安次 里絵	委 員
学校教育の関係者	藤田 耕一	委 員
社会教育の関係者	山内 信	委 員(彫刻・洋画)
社会教育の関係者	光木 桂二	委 員(洋画)
社会教育の関係者	八尾 洋一	委 員(洋画)
社会教育の関係者	仁宮 洋子	委 員(工芸)
社会教育の関係者	服部 麻知子	委 員(工芸)
社会教育の関係者	横畑 昌子	委 員(日本画)
社会教育の関係者	金田 芳子	委 員(書道)
社会教育の関係者	中澤 都志子	委 員(書道)
社会教育の関係者	岩崎 瑞枝	委 員(写真)
社会教育の関係者	長谷川 公夫	委 員(写真)

①主催事業

は2月以降実施予定事業

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
鑑賞事業			
特別企画展 神々の微笑 - 小灘一紀 絵画のあゆみ 共同主催: 米子市、米子市教育委員会 米子市美術館・米子市立山陰歴史館連携事業 関連事業: 作家によるオープニングギャラリートーク	R2.2/16(日) ~3/15(日) [25日間]		鳥取県境港市出身の洋画家・小灘一紀が2017年の「改組新第4回日展」で内閣総理大臣賞を受賞したことを記念し、受賞作《伊須気余理比売》をはじめ、油彩画79点を一堂に展示。オープニングセレモニーでは令和元年度鳥取県文化功労賞を受賞した大西瑞香氏が古事記絵画にちなんで作曲されたオリジナル曲を演奏。 展覧会図録(A4判変形/96頁)刊行。 会場:第2・4展示室 観覧料:一般500(400)円、大学生以下無料 *()内は前売、15名以上の団体、障がいのある方[付添1人を含む]の料金 *米子市立山陰歴史館企画展観覧券をお持ちの方、70歳以上の方、米子市歴史館友の会、Feel友の会、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポートなどをご持参の方は当日料金の100円割引
記念講演会	2/16(日)		解説:小灘一紀氏(本展出品作家) ゲスト:小灘一紀氏、土方明司氏(平塚市美術館館長代理・武蔵野美術大学客員教授) 会場:米子市立図書館 多目的研修室
学芸員によるギャラリートーク	2/22(土) 3/7(土)		
未就学児と親のためのギャラリートーク	2/28(金)		0~6歳の未就学児と親・祖父母などを対象にした対話型鑑賞。
日本神話の魅力について語る会	3/1(日)		ゲスト:小灘一紀氏、宮本道代氏(比婆山のロマンを探求する会)、倉橋英氏(赤穴八幡宮宮司) 会場:米子市立図書館 多目的研修室
おしゃべり鑑賞会	3/7(土)		認知症のかたとその家族などを対象にした対話型鑑賞。
人物画講座 - 古代衣裳のモデルを描く	3/8(日)		講師:小灘一紀氏 対象:小学生~一般 会場:米子市明道公民館 2階研修室
管理運営等事業			
展覧会事業			
特別共催展 I 北原照久コレクション 懐かしくて温かいおもちゃの世界展 同時開催:安部朱美創作人形展 共同主催: 米子市、米子市教育委員会、新日本海新聞社 関連事業: オープニングギャラリートーク	4/27(土) ~6/2(日) 会期中無休 [37日間]	11,778	テレビ番組『開運!なんでも鑑定団』でおなじみの鑑定士で、世界的なおもちゃのコレクターとして知られる北原照久氏のコレクションのなかからブリキのおもちゃやペダルカーなど約1,000点を一堂に展示。また、米子市在住の人形作家・安部朱美氏の「昭和の子ども」をテーマにした創作人形33作品と、2018年大山開山1300年を記念して制作された《御幸行列》を特別展示。会期後半にはおもちゃで遊べるコーナーを設置。また最終2日間は安部朱美氏の最新作《慈しみ》を追加展示。会期中はスマートフォン・携帯電話での写真撮影を可能とした。 会場:第1~4展示室 観覧料: 一般1,000(800)円、高校・大学生600円、中学生以下無料 *()内は前売、15名以上の団体、障がいのある方(付添1人を含む)の料金 *70歳以上の方、高校・大学生で15名以上の団体や障がいのある方[付添1人を含む]、日本海クラブうさみみカード会員、Feel友の会、米子市歴史館友の会会員の方は当日料金の100円割引
安部朱美氏によるギャラリートーク	5/5(日・祝)※ 5/11(土) 5/12(日)※ 5/19(日)※ 5/26(日)※ 6/2(日)※	(498)	解説:安部朱美氏 ※は追加開催 5/19(日)を除き、サイン会を併催
北原照久氏によるギャラリートーク	5/18(土)	(226)	解説:北原照久氏(横浜ブリキのおもちゃ博物館館長)

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
記念講演会「コレクションの愉しみ」	5/18(土)	(118)	講演:北原照久氏(横浜プリキのおもちゃ博物館館長) 会場:米子市立図書館 多目的研修室
安部朱美氏と学芸員によるギャラリートーク	5/25(土) 6/1(土)※	(181)	※は追加開催 6/1(土)はサイン会を併催
米子市美術館・米子市立山陰歴史館連携事業 ミニスタンプラリー	会期中	(210)	本展と、山陰歴史館の連携企画展「昭和の教室」の両方を観覧された方にスタンプを押印、達成者210人に記念品プレゼント。
昭和なつかし屋台村	4/27(日) ～5/6(月)	-	創作・交流広場にて、昭和レトロをイメージした昔あそびコーナーや屋台村を展開。
平成から令和へ 記念撮影フォトスポット設置	4/30(火) ～5/6(月)	-	改元にあわせて来場記念撮影用に特別設置。
第59回 米子市美術展覧会(市展) 主催:米子市、米子市教育委員会、 一般財団法人 米子市文化財団 米子市美術館	6/21(金) ～6/29(土) 会期中無休 [9日間]	2,350	市民から公募した6部門(洋画、日本画、書道、写真、工芸、彫刻)289点を展示。 *初日、表彰式と審査員による講評を実施 会場:第1～5展示室 観覧料:無料 *初日表彰式終了後、審査員による講評を開催 *開館記念日イベント 本展開会式にてゴスペルオーブ(米子市音楽祭出演団体)による「米子市の歌」など歌唱披露
特別共催展Ⅱ チームラボ 学ぶ! 未来の遊園地 主催:Yonagoヒカリ☆マチ アートプロジェクト実行委員会 (米子市、米子市教育委員会、 一般財団法人 米子市文化財団 米子市美術館、 山陰酸素グループ、株式会社ジョイアーバン、 株式会社中海テレビ放送)	7/27(土) ～9/3(火) [38日間] 19:00まで開館 8/3(土) 8/10(土) 8/23(金) 8/31(土)は 21:00まで 延長開館	53,959	デジタル領域のさまざまな専門家から構成されるウルトラテクノロジー集団「チームラボ」。世界中で注目を集めるデジタルアート展で山陰初開催となる本展では、「お絵かき水族館」「天オケンケンバ」「まだ かみさまが いたるところにいたところのもの」「光のボールでオーケストラ」「小人が住まうテーブル」の計5作品を展示。米子市美術館開館以来最高入場者数を達成したことを記念し、山陰酸素グループ、株式会社ジョイアーバン、株式会社中海テレビ放送の3社から米子市へ記念寄附されたソファセット(ロビーチェア及びテーブル)を当館に設置。 会場:第1～4展示室 観覧料: 一般1,300(1,100)円、中学・高校生1,000(800)円、 小学生以下700(500)円、2歳以下無料 *()内は前売 *障がいのある方(付添1人を含む)、10名以上の団体、リピーター、各種相互割引は当日料金の100円引
関連事業: 缶バッジファクトリー	会期中	-	「お絵かき水族館」で描いた絵で缶バッジを制作。 オープニング特別企画として、初日から1週間は無料とした。 (通常1個500円)
山陰酸素グループによるワークショップ 「液体窒素で体験してみよう! -196℃の世界」	8/3(土)3回 8/17(土)2回 8/24(土)3回 8/31(土)3回	(860)	8/17(土)のみ、米子市児童文化センター会場で実施。
Yonagoヒカリ☆マチワークショップ 「こどもパソコン Ichigojamを用いたプログラミング講座」	8/17(土)	26(※)	講師:米子工業高等専門学校電子制御工学科教授他5人 会場:米子市立図書館 研修室3・4
Yonagoヒカリ☆マチワークショップ 「世の中で活躍しているロボットたち」	8/19(月)	22(※)	講師:米子工業高等専門学校電子制御工学科教授他2人 会場:米子市立図書館 多目的研修室
分身ロボット「OriHime」によるサテライト展示鑑賞	8/22(木)	34(※)	鳥取大学医学部附属病院小児科病棟院内学級児童が院内で描いた魚などの絵を美術館でスキャン。「お絵かき水族館」で泳ぎ回る様子を、分身ロボットを通じてライブ中継した。
共催展 米子市障がい者アート展 KANSEI 6 ～障がいのある人たちが創造するカタチ～ 主催:米子市 共催:米子市教育委員会、 一般財団法人 米子市文化財団 米子市美術館	9/24(火) ～9/30(月) [6日間]	892	市内の障がい者施設に入通所している方による美術作品205点を展示。 会場:第4展示室 観覧料:無料
第63回 鳥取県美術展覧会(県展) 主催:鳥取県、鳥取県教育委員会、新日本海新聞社 共催:米子市美術館、倉吉博物館、日南町美術館	10/5(土)～ 10/14(月・祝) 会期中無休 [10日間]	3,016	県民から公募した8部門(洋画、日本画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン)のうち入選作品433点を展示。 会場:全館 観覧料:無料 *初日、審査員による講評とギャラリートークを開催

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
常設(コレクション)展 風景 風と光のあるところ 主催:米子市、米子市教育委員会、 一般財団法人 米子市文化財団 米子市美術館 関連事業:	10/27(日) ~12/1(日) [31日間]	1,661	収蔵品のなかから、植田正治《妻のいる砂丘風景(Ⅲ)》や笹鹿彪《ネオンの街》をはじめ、郷土の景観や市街地の風景などを主題にした洋画、日本画、写真、版画作品を紹介。 会場:第2展示室 観覧料:一般330(270)円 *大学生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方(付添の方1名含む)及び米子市美術館後援会会員は無料 *()内は15名以上の団体、Feel友の会、米子市歴史館友の会会員の方、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポートなどをご持参の方、日本海クラブうさみみ、山陰中央新報さんさんクラブ会員の方の料金 *「文化の日」「関西文化の日」無料開放日 11/3、11/16、11/17の3日間 (期間中入場者数:597人)
おしゃべり鑑賞会(認知症のかたのための鑑賞会)	11/2(土)	(13)	認知症のかたとその家族などを対象にした対話型鑑賞。
AIR475 2019 / 共同企画展 秋山さやか展 米子をほどく 2009-2019 主催:米子市、米子市教育委員会、 一般財団法人 米子市文化財団 米子市美術館、AIR475 共催:鳥取県 助成:2019年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業、 鳥取県アートによる地域活性化事業補助金 関連事業:	R2.1/12(日) ~2/2(日) [19日間]	2,285	平成21年度特別展「ネオテニー・ジャパン 高橋コレクション」出品作家である美術作家・秋山さやか氏(1971年兵庫県生まれ・神奈川県在住)が約1ヶ月間米子に滞在し、出逢った人やもの、その記憶をテーマに制作した新作をはじめ6点を展示。あわせて、AIR475のこれまでの活動アーカイブを展示。 会場:第1・2展示室 観覧料:無料
ワークショップ「思い出のかげら」	12/21(土)	20(※)	「思い出のもの」だけれど要らなくなったものを持ち寄り、解体したものをつなぎ合わせて1本の「道」を制作。作品は、12/23~12/28の6日間ほとんどおり商店街にて展示。 講師:秋山さやか氏 会場:ダラズクリエイティブボックス
アーティストによるガイドトーク	R2.1/12(日) 1/18(土) 2/1(土)	(101)	解説:秋山さやか氏
ワークショップ「米子のかげら」	1/19(日)	13(※)	米子の街を歩いて、それぞれ見つけた「食材」を入れ込み「食べられる米子の地図」をクッキーで制作。 講師:秋山さやか氏 会場:当館~近隣フィールドワーク~日本財団まちなか拠点
AIR475 まちあるき	1/26(日)	13(※)	AIR475のメンバーが、米子市中心市街地を歩きながら「アート」や「建築」の視点で、いつもと違うまちのみどころを紹介。
教育普及事業			
ミュージアムスクール	全3回		
第1回 創作・交流広場活用ワークショップ 「空気で大きな彫刻をつくろう！」	9/29(日)	25	講師:藤田英樹氏(彫刻家・島根大学教育学部教授) 会場:第5展示室及び創作・交流広場
第2回 米子彫刻ロード探検ツアー	10/13(日)	18(※)	解説:当館主幹兼統括学芸員 青戸貴子 会場:米子市文化ホール~新加茂川沿い
第3回 美術上映会 「プルシャンブルー 世界を巡った謎の青」	R2.3/1(日)		解説:当館主任学芸員 小川由利香 会場:第3展示室
出前講座	全3回		
彫刻ロードの歴史を学ぼう 街歩き企画	7/20(土)	17(※)	依頼元:米子高島屋 解説:当館副館長兼統括学芸員 青戸貴子 会場:米子市文化ホール~米子駅前~新加茂川沿い
チャール会米子創立60周年記念祝賀会記念講演	10/6(日)	44(※)	依頼元:チャール会米子 講演:当館副館長兼統括学芸員 青戸貴子 会場:ANAクラウンプラザホテル米子
まちなかを巡るモニターツアー(野外彫刻解説)	10/26(土)	11(※)	依頼元:米子市都市創造課 解説:当館主幹兼統括学芸員 喜多村聡史 会場:米子市文化ホール~新加茂川橋周辺

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
米子市文化財団・米子工業高等専門学校連携事業	全2回		
夏休みこども体験教室 工作教室「リサイクル工作でランプを作ろう！」 (Yonagoヒカリ☆マチアートプロジェクト事業)	8/9(金)	15(※)	講師:上田輝美氏 (米子工業高等専門学校教育支援センター技術職員) 会場:米子市淀江文化センター
米子市文化財団・米子工業高等専門学校連携事業 夏休みこども体験教室 科学教室「光の不思議と-196℃の世界の科学を体験しよう！」 (Yonagoヒカリ☆マチアートプロジェクト事業)	8/9(金)	29(※)	講師:谷藤尚貴氏 (米子工業高等専門学校物質工学科准教授) 会場:米子市淀江文化センター
米子市文化財団連携事業 米子市文化財団フェスティバル (米子城フェスタ同時開催)	10/5(土)	2,037(※)	米子市文化財団の9施設が集まり、1日限定の昔遊び、弓矢体験などワークショップを開催。美術館ブースでは「くつつき“エコアート”に大挑戦！」を実施、226人参加。 会場:米子城跡三の丸広場(米子市営湊山球場)
博物館実習受入	随 時	-	2人受入(尾道市立大学1人、関西学院大学1人)
職場体験学習・インターンシップ受入		-	4人受入(後藤ヶ丘中学校2人、鳥取大学1人、福米中学校1人)
基礎体験活動受入		-	5人受入(島根大学1000時間体験学修)
モニター制度	通 年	-	展覧会観覧後、モニターレポートを提出、モニター会議実施(第7期1年目・3人登録)
サポーター制度		-	展覧会広報補助、展覧会関連事業補助等15回活動(第7期1年目・9人登録)
ミュージアムスタンプラリー		-	達成者に記念品贈呈
アンケート		-	来場者に受付配布し、全主催事業で実施
ホームページによる情報提供		-	展覧会情報、貸館展示情報、展示室空き状況、チケット取扱等随時更新
資料収集事業			
収蔵品基本台帳作成 郷土関係作家、次年度資料収集 「収蔵品管理システム」活用	通 年	-	収蔵作家関係、地元作家、若手作家関係調査 次年度企画展等実施に向けた調査等
収蔵品の修理・修復	-	-	刀剣手入 足立正太郎他写真作品10点ブックマット装
収蔵品の貸出等	随 時	-	「生誕120年 芸術写真の神様 塩谷定好とその時代」 (鳥取県立博物館)へ 足立正太郎《手》ほか計26点貸出 「最古の日本刀の世界 安綱・古伯耆展」(春日大社)へ 寄託作品《太刀 銘 安綱》ほか計3点貸出 特別観覧1件 写真作品調査のため 画像貸出4件(35点)
収蔵品状況			洋画193点、日本画89点、素描294点、 彫刻31点、書10点、版画313点、写真838点、 工芸1点、資料70点 合計1,839点
その他事業			
展覧会図録等の売捌	通 年	-	既刊展覧会図録や所蔵品目録などの販売
主催事業入場者数合計(人)		75,966	美術館外で実施したもの(※)及び重複しているもの()は除く
(前年同月実績)		29,478	

②貸館事業

(令和2年1月末現在)

*は米子市秋の文化祭参加事業

会期	展覧会名	展示室	入場者数(人)		備考
			小計	合計	
(3/30～)～4/8	第61回新協展	1～5	-	1,244	前年度(3月)分を除く
6/7～6/11	八田頼明写真作品展	1	680	1,404	
	米子美術家協会小品展	3	749		
	伯耆書院展	4	975		
7/5～7/9	二科会写真部 鳥取支部展	1	497	608	
	日本風景写真協会鳥取支部 写真展 四季彩々	3	369		
9/13～9/17	第50回美術集団ゼム作品展*	1	721	1,487	
	鳥取県書道教育研究会生徒条幅展*	2	552		
	第34回米子写真倶楽部作品展*	3	609		
	第60回記念チャーチル会米子作品展*	4	922		
9/20～9/24	第39回フォトクラブピノキオ写真展*	1	634	808	
	第18回鳥取県西部地区アンデパンダン絵画展*	2	580		
9/27～10/1	第23回ビスターレ絵画展*	1	1,071	2,354	
	イマージュガラス工芸教室 第31回「彩りの時間に」*	2	1,788		
	第50回写真集団ゼロ写真作品展*	3	813		
10/18～10/22	米子陶友会展*	1	700	1,839	
	第40回龍心会書道展*	3	467		
	第11回たまいつかさどアトリエKuの子どもたち ソウゾウのちから展*	4	1,489		
10/25～10/29	第1回仁愛書院展*	1	1,060	1,923	
	第21回透明水彩で描く水彩画作品展*	3	1,115		
	第79回米子美術家協会展*	4	1,115		
	第42回フォト・きゃらぼく写真展*	5	519		
11/1～11/5	'19 山陰新協米子展*	1	500	637	
	第47回米子墨彩会水墨画展*	3	457		
11/8～11/12	サークル”U”展*	1	512	1,167	
	山 - 写真三人展	3	653		
	第24回 米子市写真家協会展/ 特別企画 安養寺亨写真展「吾輩は猫である」*	4	817		
11/15～11/19	第33回米子工芸会展*	1	642	863	
	第19回創元会鳥取支部洋画展*	3	460		
	第55回米子かこう会作品展*	5	275		
11/22～11/26	第38回麗山書院展*	1	461	1,936	
	第59回中美展*	3・4	1,798		
11/29～12/3	第52回麓人展*	1	658	1,602	
	第36回米子地区書道連盟展*	3・4	1,323		
	フランス刺繍 ニードルポイントの世界*	5	270		
12/8～12/22	令和元年度 鳥取県障がい者芸術・文化作品展 あいサポート・アートとっとり展	1～4	-	1,128	
1/11～1/19	第17回鳥取県ジュニア美術展覧会(地区展)	3・4	-	2,376	
1/24～1/28	第52回米子書芸院展	4	-	432	
1/31～ (～2/4)	第41回鳥取県書道連合会展	3・4	-	182	1月分のみ
貸館事業入場者数合計			利用件数 39件	21,990	利用料収入 1,950,885円
(前年同月実績)			46件	27,289	2,675,759円

令和2年度 米子市美術館 事業計画書（案）

1 基本方針

- (1) 市民に親しまれる美術館を目指し、地域文化の創造に寄与する。
- (2) 市民の文化に対する知識及び教養の向上に資する。
- (3) 広く市民に美術作品等の発表の場を提供し、文化の交流発展に努める。
- (4) 様々な事業を展開し、地域社会の文化の核としての機能を充実させることにより、市民と共存する美術館を目指す。
- (5) 美術館の利用促進を図るため、様々な誘致活動を積極的に展開する。
- (6) 市民ニーズに対応するための多様な情報を提供・発信する。
- (7) 長年の管理運営実績で培った適切な方法により、美術館を維持管理する。
- (8) 公金意識の徹底に基づいた美術館の管理業務を遂行する。

2 重点施策

- (1) 芸術文化の鑑賞機会の提供
特別企画展（1本）、特別共催展（1本）、共催展（1本）、若手作家支援展（1本）、常設展（2本）を企画・開催し、芸術性の高い多彩な美術作品を紹介し、美術愛好者の拡大に努める。
- (2) 美術資料の収集・保管・調査研究
米子市美術館条例に則り、美術資料の収集・保管を行い、良好な状態で次世代に継承する。郷土作家の掘り起こしを中心に調査研究を継続し、米子を中心とした美術の発信地の役割を果たす。
- (3) 収蔵作品・資料データベース化
収蔵作品をはじめ、未整理の作家関連資料やスケッチ等をデジタルコンテンツ化し、収蔵品管理システムによるデータベース化をより一層図る。
- (4) 収蔵図書資料のデータベース化
図書管理システムにより、当館で収蔵している画集や美術展カタログ等新規追加分を含め図書資料のデータベース化を継続して行う。
- (5) 生涯学習活動とコミュニティ活動の支援
美術講演会やワークショップ等の教育普及活動を行い、幅広い市民を対象に積極的な参加型の生涯学習の場を提供する。
- (6) 市民の発表の場の提供
市展・県展・米子市秋の文化祭の運営に参画・協力し、作品の発表と鑑賞の機会を設け市民の美術振興に寄与し、また利用しやすいサービスを提供する。

3 主要事業

事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施期間	備考
鑑賞事業（実施事業）			
特別企画展 生誕110周年記念展 異才 辻晋堂の陶彫	陶彫による抽象作品で国際的に活躍した鳥取県日野郡溝口町（現・西伯郡伯耆町）出身の辻晋堂（1910～1981）生誕110周年を記念した全国4ヶ所の巡回展。本展は陶彫のほかリトグラフ、素描約80点と当館収蔵の辻晋堂作品も紹介する。 入場有料 入場者見込数 5,750人	7月18日（土） ～8月23日（日） [32日間]	第1～4展示室 巡回先 愛知県陶磁美術館 4月11日～5月31日 美術館「えき」KYOTO 10月31日～11月23日 菊池寛実記念 智美術館 12月19日～翌年3月21日 （芸術文化振興基金 助成申請※予定）
管理運営等事業			
① 展覧会事業			
特別共催展 フォーエバー現代美術館 コレクション 草間彌生展	フォーエバー現代美術館が所蔵する豊富なコレクションから、2016年に文化勲章を受章した前衛芸術家草間彌生（1929～ ）の幻想的で豊かな色彩の独特な世界を紹介する。現在の草間を象徴するモチーフが生まれた1980～1990年代の作品群を中心に絵画、版画など約130点を展示する。 入場有料、会期中無休 入場者見込数 15,000人	4月25日（土）～ 5月31日（日） [37日間]	第1～4展示室 新日本海新聞社との 共催事業
共催展 米子市障がい者 アート展 KANSEI7	米子市内の障がい者施設に入通所されている障がいのある方の作品を展示する。 入場無料 入場者見込数 500人	9月21日（月・祝） ～28日（月） [7日間]	第4展示室 米子市との共催事業 （美術館は展示等担当）
若手作家支援展 マツダケン イラスト展 （仮）	郷土ゆかりの若手作家の活動を支援し、地元でなかなか目にする機会のないその活動を紹介する。第5回目の今回は米子市出身の若手イラストレーターのマツダケン氏を紹介する。 入場無料 入場者見込数 1,500人	令和3年 1月24日（日）～ 2月21日（日） [25日間]	第2展示室 （ごうぎん鳥取文化 振興財団助成申請 ※予定）
第60回記念 米子市美術展覧会 （市展）	広く市民から美術作品を募り、発表と鑑賞の機会を設けることにより美術の振興に寄与する。第60回記念展。 入場無料、会期中無休 入場者見込数 2,500人	6月26日（金） ～7月4日（土） [9日間]	

事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施期間	備考
第64回 鳥取県美術展覧会 (県展)	広く県民から美術作品を募り、優れた作品を展示することによって、創作活動の振興を図るとともに、鑑賞の機会を提供し、美術、文化の振興に寄与する。 入場無料、会期中無休 入場者見込数 3,000人	10月3日(土) ～12日(月) [10日間]	鳥取県との共催事業
常設(コレクション)展	常設展示は美術館活動の基本であり、広く市民に当館の活動及び収集方針に沿った展示を行い、市民の美術文化の向上に資する。本年は生誕100年を迎える写真家2人を紹介する。 I期:岩宮武二/I期:杵島隆 入場有料 入場者見込数 1,500人	I期:[19日間] 9月6日(日)～ 9月27日(日) II期:[31日間] 10月25日(日)～ 11月29日(日)	第2展示室
② 教育普及事業			
ミュージアム スクール	ワークショップ「はじめてのリトグラフ」、野外彫刻探検、上映会などを年間全3回程度実施	1) ワークショップ 8月2日(日) 2) 野外彫刻探検 10月11日(日) 3) 上映会 令和3年2月28日(日)	
美術講演会	美術界の第一線で活躍されている方を招き、広く美術の知識を深める機会を提供する。	特別企画展会期中	辻晉堂展 記念講演会 会場:未定 (特別企画展を含む)
土曜講座	展示作品の理解を深める機会を提供するため、展示解説を行う。	特別企画展、特別共催展、常設展開催中の指定土曜日	特別企画展、特別共催展、常設展を含む
連携事業 米子高専連携事業	米子高専・米子市淀江文化センターと連携し、夏休みの工作に役立つワークショップを行う。	夏休み中で調整	
当財団施設連携事業	米子市と協力して、財団の管理・受託する施設が連携して事業を実施する。	調整中	
博物館実習・ 職場体験学習	大学・大学院生の学芸員資格取得のための実習の受入、市内中学校・高等学校の職場体験の受入を行う。	随時	
美術館サポーター (ボランティア)	ボランティア組織作り及び研修等の指導を通し活動基盤をすることにより、市民が主体的に美術館活動に関わる様々な機会を設ける。	通年	本年度は 第7期2年目

事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施期間	備考
出前講座	市内小・中・高等学校、公民館及び市内団体に向け、学芸員レクチャーや美術上映会、野外彫刻探検等を行う。	通 年	
ジュニア キュレーター制度	市内中学・高等学校の協力を受け連携を図り、生徒の目線で収蔵作品を用いての展覧会や作品調査等を計画実施する。	随 時	
モニター制度	自主事業に観覧、参加し意見や感想をレポートとしてまとめ、ディスカッションも行いながら事業展開に活かす。	通 年	本年度は 第7期2年目
アンケート	自主事業に対し随時実施する。	通 年	
③ 資料収集事業			
情報資料収集・調査	郷土関係作家の調査及び次年度以降の展覧会の調査・研究を行う。	通 年	
収蔵品の収集・保管	基本的な収集方針に基づき、作品・資料等の収集を行い収蔵品の充実を図り、保管にあたる。	通 年	
収蔵作品・資料の データベース化	収蔵作品をはじめ、未整理の作家関連資料やスケッチ等をデジタルコンテンツ化し、収蔵品管理システムによりデータベース化する。	通 年	
収蔵図書の データベース化	収蔵画集や美術展図録等新規追加分を含めデータベース化する。	通 年	
④ 貸館事業			
貸館事業	個人・団体への展示室貸出を行い、芸術文化活動の場を提供する。	通 年	
⑤ その他事業			
図録等売捌	既刊展覧会図録や収蔵品目録、収蔵作品等の絵はがきを販売する。	通 年	
ミュージアム スタンプラリー	主催事業に参加、観覧された方には専用台紙にスタンプを押印、5個もしくは10個集めた方に記念品をプレゼントする。	通 年	
開館記念日イベント	開館記念日に実施する。	6月17日(水) ※休館日	市展開会式 6月26日(金)に 実施予定
【新規】井上幸夫・英子 コレクション 展示替等	アジア博物館に寄託・常設展示されているアール・ヌーヴォー期のガラス工芸作品について展示替と点検を行う。	展示替年1回 点検年数回程度	

